

編集後記

20周年記念誌は、10周年記念誌に倣って作成したため、比較的編集作業はスムーズに進みました。色々な方々からの原稿をいただき、これを読む中であらためて20年の年月の長さと、多くの皆様のご支援・ご協力を一同、強く認識するにいたった次第です。

この10年間でUMINの利用登録者数は約10倍、Webアクセス件数は約20倍になっています。この10年間の利用の増加にあらためて驚きました。大学病院で外来患者が10年間で10倍になることはありえないでしょうが、ITの世界では十分想定可能です。UMINは、5年サイクルでハードウェアが更新（リプレース）されます。毎回、リプレースの1年前くらいになるとサーバが混雑して、レスポンスが悪くなったり、メールの配信が遅れたりします。そして、サーバが更新されると、2、3年は快適に使うことができます。今までは、ハードウェアの能力向上と利用の増加がいたちごっこを続けながら、何とかやっていくことができました。

UMINの次の10年後の姿は、どうなっているのでしょうか。そのことに一同想いを馳せつつ、編集後記を終わりとさせていただきます。

追伸

北村信氏の寄稿文にある「T氏」とは、谷本雅男氏であり、「M氏」とは、両角晶仁氏のことです。両氏の了解のもと、本編集後記で情報を開示させていただきました。

大学病院医療情報ネットワーク 二十周年記念誌

平成21年1月30日発行
非売品

編集

大学病院医療情報ネットワーク20周年記念行事実行委員会
五十嵐徹也（代表者）、櫛山博、服部雄幸、木内貴弘

編集補助

鎌田智子

発行者

東京大学医学部附属病院
代表者 武谷雄二
〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1
